自転車を安全で快適にご使用いただくために！

# bikke用オプションパーツ「リヤチャイルドシート」取扱説明書

《品質保証書付》

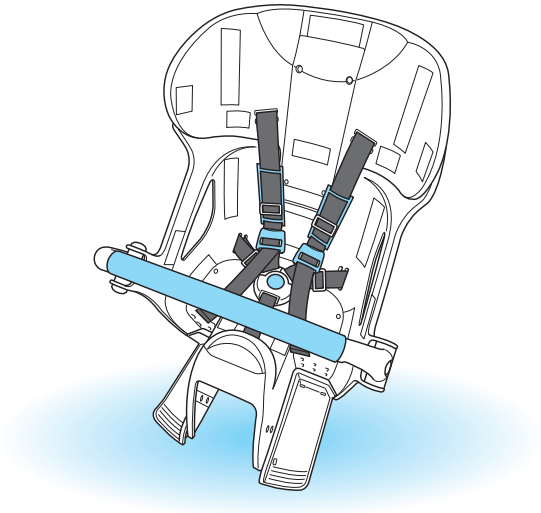
このたびは当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

## ⚠ 警告

- お客様の安全のために、ご使用前に本書を必ずお読みいただき、本製品をご理解の上、使用してください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品は適正な取り付けのため、自転車販売店で取り付けてください。
  正しく取り付けられていないまま使用した場合、事故またはケガにつながるおそれがあります。
- 適合自転車、幼児の適用範囲の記載及び取扱説明書の記載を守らない場合は、SG規格（製品規格）の補償対象外となる場合があります。
- 6歳以上のお子様を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償外となる場合があります。

※SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。

SGマーク



- 取り付け可能自転車：
  bikkeシリーズ
  （自転車及び電動アシスト自転車）

- チャイルドシートのクッションは別売りです。
  指定のbikke用オプションパーツ「チャイルドシートクッション」をお買い求めください。
  （品番：B403531　　略号：BIK-K.A）

- 原材料や市場の変化により、予告無しに仕様、外観を変更することがあります。
  お買い上げの商品と取扱説明書に記載しているイラストが異なる場合がありますのでご了承ください。

## 目次


- 警告表示……2
- はじめに……2
  1. 乗車できるお子様の目安とキャリヤの制限‥2
  2. チャイルドシートを装着する自転車について…3
  3. 取り付け時の注意……3
- ご使用時の注意……4
  1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は……4
  2. お子様をチャイルドシートに乗せるときは‥5
  3. 走行時は……7
  4. 幼児2人同乗時の注意……8
  5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは…10
  6. 保管のしかた……11
- 各部の名称……12
- チャイルドシートを使用する前に……13
- チャイルドシートの操作方法……15
  1. シートベルトの調整……15
  2. バックルの固定・解除……16
  3. グリップバーの使い方……17
  4. ヘッドガードの使い方……18
  5. フットレスト（足のせ）の高さ変更方法……18
  6. 点検について……19

品質保証書……20


ブリヂストンサイクル株式会社

# 警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車が壊れるなどのおそれがあります。

## 表示の意味

| | |
|---|---|
| ⚠警　告 | この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠注　意 | この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。 |
| 🛇禁　止 | この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。 |
| ❗強　制 | この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。 |

# はじめに

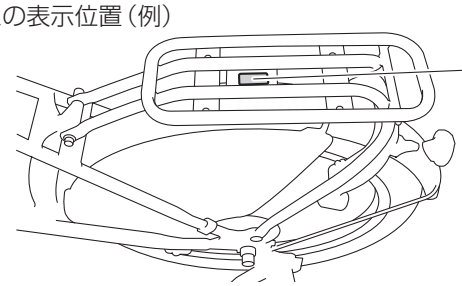
本商品のご使用にあたっては、以下に示すリヤキャリヤとお子様の制限をご確認の上、ご使用ください。

**⚠ 警告**

- **推奨されていないリヤキャリヤへ組み付けたり、制限体重を越えたお子様を乗せたりしないでください。部品の早期破損・折損が生じ、事故またはケガにつながるおそれがあります。**
- **チャイルドシートを取り付ける前に、リヤキャリヤを点検してください。サビがひどい状態やグラつきがひどい場合は、リヤキャリヤを交換してください。**

## 1. 乗車できるお子様の目安とキャリヤの制限

- 本チャイルドシートは車体専用設計になっており、専用のリヤキャリヤ（クラス27）のみ装着可能です。販売店にご相談ください。
- 乗車可能なお子様の体重（着衣を含む）について
  8kg以上22kg以下のお子様が乗車可能です。（リヤキャリヤはクラス27）
  ＜参考＞　使用年齢：2歳（24ヶ月）以上6歳（72ヶ月）未満
  目安身長：70cm以上115cm以下
  チャイルドシート重量：3.9kg
- 上記範囲以上のお子様を絶対に乗せないでください。上記範囲以上のお子様を乗せると自転車の安定性が損なわれるおそれがあります。安全に運転が出来ることをご確認の上、ご使用ください。
  ※リヤキャリヤのクラス表示は、リヤキャリヤ本体に刻印またはプレートに表記されています。
  クラスの表示位置（例）



## 2. チャイルドシートを装着する自転車について

本チャイルドシートは車体専用設計になっております。装着する際は販売店にご相談ください。

①自転車の取扱説明書を確認して、装着リヤキャリヤの強度区分確認などを行い、取り付けを禁止している自転車のリヤキャリヤには取り付けないでください。
また、取扱説明書に記載が無い場合には販売店にご相談ください。

②必ずロック付きの両立スタンドの自転車を使用してください。
1本スタンドやロックのないスタンドの自転車には使用しないでください。

③足の巻き込み防止のために必ずドレスガードを取り付けてください。

④一般のシティ車に取り付けできるチャイルドシートは自転車1台につき1つです。

⑤3人乗り（幼児2人同乗）自転車に取り付ける際は販売店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書を確認し、取り付ける自転車がこのチャイルドシートを幼児2人同乗基準に指定している場合には取り付けることができます。

⑥小さい自転車ほど取り付け位置に制限ができたり、使用した時に安定性が低下しますので、注意してください。

## 3. 取り付け時の注意

**⚠ 注 意**

- **安全にご使用いただくために、お買い上げいただいた販売店での取り付けをお願いします。**
- **幼児2人同乗用自転車に取り付けるチャイルドシートは、前後各1つに限ります。**
- **取り付け時は、ネジやナットを確実に締めてください。**
- **ドレスガードやロック付きの両立スタンドを取り付けて使用してください。**
- **3人乗り（幼児2人同乗）のために前後チャイルドシートを取り付ける前には、自転車の表示や取扱説明書を確認し、取り付ける自転車が幼児2人同乗基準適合車であることと、装着するチャイルドシートが弊社指定のチャイルドシート（自転車の説明書をご参照ください）であることを確認してください。**

# ご使用時の注意

⚠ 注 意

- 自転車にチャイルドシートを取り付けてお子様を同乗する場合、取り付けてない場合と比較して自転車のハンドル操作性、走行安定性、制動性能が低下します。
  このため、事前に安全な場所で、十分に走行練習してから使用してください。
- チャイルドシートのシール表示や取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。

## 1. お子様をチャイルドシートに乗せる前は

⚠ 警 告

- お子様の体重、年齢、身長等の範囲を守ってください。
- 本体、フットレスト、グリップバー、ヘッドガードの取り付けネジ等が、しっかり締まっているか、日常点検を行ってください。
- 使用するときはチャイルドシート及びリヤキャリヤが確実に取り付けられていることを確認し、破損・変形等したまま使用しないでください。また、シートベルトが傷んでいないか確認してください。少しでも異常を感じた場合は使用を中止し、販売店にご相談ください。
- お子様にはヘルメットを着用させて使用してください。着用しない場合、事故時に重傷あるいは死亡につながるおそれがあります。また、運転者もヘルメットを着用するようおすすめします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 一般のシティ車に同乗できるお子様は1人です。また、3人乗り（幼児2人同乗）の自転車に同乗できるお子様は2人までです。それぞれの自転車で使用できるお子様の年齢、体重、身長の範囲を守ってください。
- スタンドが安定した状態で立っているか確認してください。またスタンドのロックがかかっていることも確認してください。
- この商品はSGマーク認定基準を満たしていますが、大きな衝撃が加わると破損・変形・クラック等が発生することがあります。一度でも大きな衝撃を受けた場合は使用をやめ、十分点検してください。また、販売店に点検を依頼してください。
- 特に、フットレスト部分は、このような衝撃に対してダメージを受けやすい部位となりますので、十分点検を行ってください。

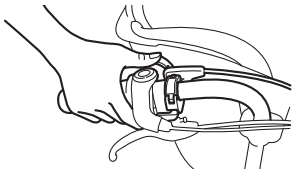
## 2. お子様をチャイルドシートに乗せるときは

安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な乗せ方、降ろし方を行わないと思わぬケガをするおそれがあります。
お子様2人を同乗させる場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】
お子様1人を乗せる場合は、下記⑤⑥または⑦⑧を省略してお読みください。

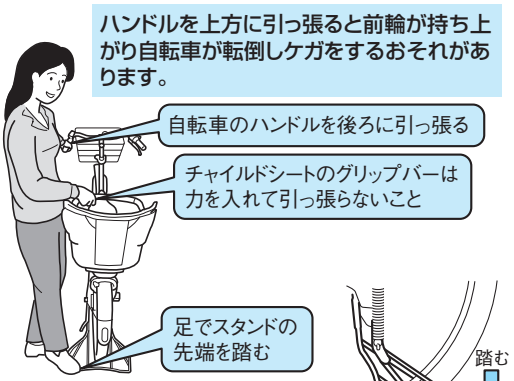
### ⚠ 警告

- **お子様を乗せる際は、必ず荷物を積んだ後に乗せてください。**

**①お子様を乗せる前に、「テモトデロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ず※1ロック（半固定）してください。**



**②自転車が転倒しないように、※2安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立っていること、スタンドのロックがかかっていることを確認してください。**
**スタンドを立てる際は、チャイルドシートのグリップバーを引っ張らずに、自転車のハンドルを引っ張りながらスタンドの端を踏んで、てこの原理を利用して立ててください。**

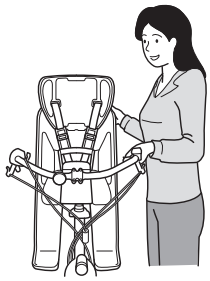



スタンドを立てる時は、スタンドの先端を強く踏むと楽に立てることができます。

**※3自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップバーをもって持ち上げないでください。**

**③お子様にヘルメットを着用させてください。**

**④保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。**



**⑤まず初めに年長のお子様から先に、必ずしっかりと抱いて※4リヤチャイルドシート（後幼児座席）に乗せてください。**

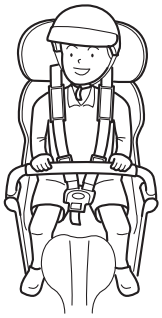
**自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。**

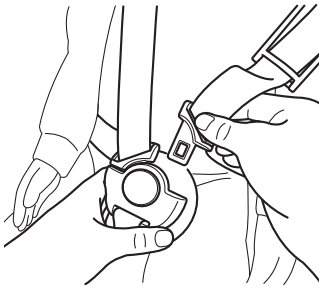
お子様を抱いて乗せ降ろししてください。

フットレストをステップ（踏み台）として使用しないでください。

## ⚠ 警告

⑥お子様の後頭部をカバーするようにヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着してください。





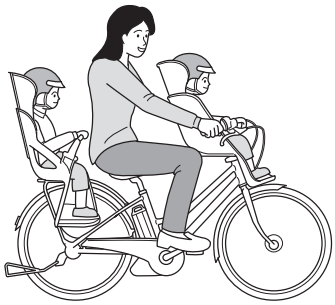
お子様がチャイルドシートに着座したとき、ヘッドガード上端が頭部の中心より高くなるように調整してください。

⑦次に年少のお子様をしっかりと抱いてフロントチャイルドシート（前幼児座席）に乗せてください。

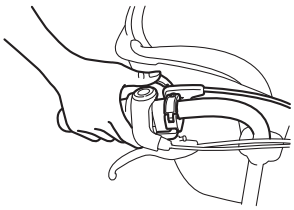
⑧リヤチャイルドシートと同様にヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着してください。

⑨お子様を乗せるとき、乗せたあとは、必ず正しい姿勢（正しく着座）であることを確認し、特に足が車輪に巻き込まれることのないように注意してください。（③、⑥、⑧参照）

⑩スタンドを上げてから、保護者が自転車に乗ってください。
※3自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップバーをもって持ち上げないでください。



⑪※5ハンドルグリップをしっかり握ってから、「テモトデロック」を操作し、最後にロックを解除してください。

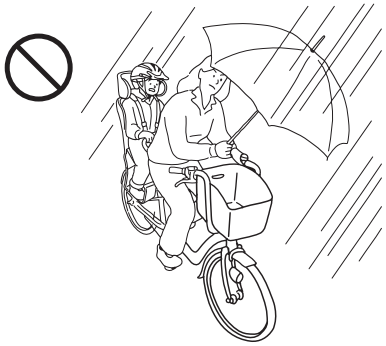


※1　「テモトデロック」はハンドルの回転を完全に固定するものではありません。
※2　傾いた場所で「テモトデロック」を解除した場合、路面の傾き等により不用意に自転車が動き転倒するおそれがあります。
※3　想定外の負荷により、フットレストやグリップバーが破損する場合があります。
※4　お子様をリヤチャイルドシートに乗せる際は、フッドガード（足のせ部）に強い力を加えないでください。
※5　バランスを崩した際にハンドルグリップから手が離れると、とっさに指をレバーのすき間などに挟むおそれがありますので、ハンドルグリップをしっかり握ってください。

## 3. 走行時は

⚠ 警告

- 必ずシートベルトを使用してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- 傘を差しながらの片手運転など、危険な行為は絶対にしないでください。



- お子様が乗車中はグリップバーを握らせてください。

- お子様が眠らないように注意してください。
- お子様が走行中に自転車用錠やベルトバックルを操作しないように十分注意してください。
- 段差のある場所ではお子様を乗せたまま走行しないでください。
- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったり暴れたりしないよう、注意してください。

- 使用に当たっては交通法規を守ってください。
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。自転車が倒れてお子様がケガをするおそれがあります。

## 4. 幼児2人同乗時の注意

⚠ 警告

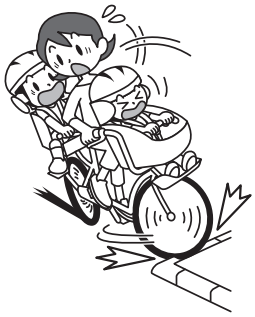
- お子様を2人同乗させて自転車に乗るときはスニーカーなど、かかとの低い靴をはいてください。また、スリッパや足から脱げやすい靴ははかないでください。
  ペダルから足を踏み外すと、転倒する危険があります。

- フロントチャイルドシートによって、前方（特に下側）が見えにくくなります。このため、安全な場所で視界の確認をしてから使用してください。また、見える範囲の前方の障害物に十分注意してください。

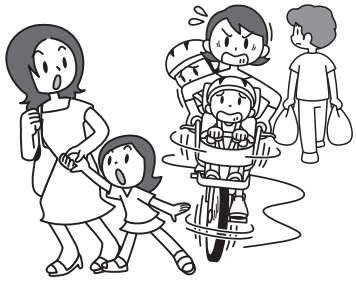
- お子様を2人同乗させた時は、自転車は同乗させない時に比べ運転しづらくなり、転倒する危険が増します。
  ・お子様の乗せ降ろしや自転車の押し歩き・走行を安全な場所で練習してから使用してください。
  ・発進時や低速走行時には、ハンドルが振れることがあるので、特に注意してください。

- 道路に傾斜や段差や溝があるときはハンドルをとられやすいので、押して歩くか、ゆっくり注意して通過してください。

- お子様を2人同乗させた時は、自転車全体の重さが増えるので、ハンドル操作に大きな力が必要になり、押し歩き時にもバランスを崩し、自転車の立て直しができずに転倒しやすくなります。下記に注意してください。
  ・ハンドルを急に切らないでください。
  ハンドルを大きく切った際に、前輪が前または後に意図しない回転をして転倒することがあります。傾斜面や路面の凹凸があるところでは、特に起こりやすくなります。



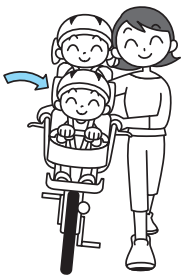
  ・歩行者などとすれ違う際によけるときは、ハンドル操作などに注意してください。
  狭いところを押し歩いたり、歩行者や自転車と接触したり、同乗させているお子様の動き、路面の凹凸傾斜などによりバランスをくずしやすくなります。



⚠ 警告

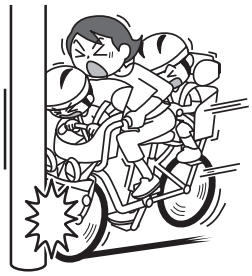
●バランスをくずしにくい押し歩きの方法
押し歩き時には同乗のお子様の動きや路面の凹凸・傾斜などによるわずかなバランスのくずれによって、自転車の立て直しができずに転倒することがあるので、お子様を自転車から降ろして押し歩きをしてください。
やむをえず、お子様を同乗させて押し歩きを行う場合には、転倒の危険がありますので、以下の事項を考慮して慎重に押し歩きを行ってください。

・自転車は垂直より少し手前に傾けて、ハンドルを握り、ブレーキがすぐにかけられるようにしてください。



・同乗のお子様が動かないように注意するとともに、路面の凹凸・傾斜などに注意して、バランスをくずさないようにしてください。
・押し歩きのための十分な空間がある場所であることを確認し、混雑した場所ではバランスをくずしやすいので、お子様を同乗しての押し歩きはやめてください。

●お子様を2人同乗させた時に衝突などの事故を起こした場合、自転車全体の重さが増えているので、同乗させないときに比べて衝突時の衝撃が大きくなります。このため、衝突などの事故を起こした場合は、同乗のお子様、運転者本人の被害が大きくなります。
また、歩行者や物に衝突などの事故を起こした場合も、同じく歩行者や物の被害（けが）が大きくなります。



※以上のことは、お子様を1人のみ乗せた場合も同じですので、注意してください。

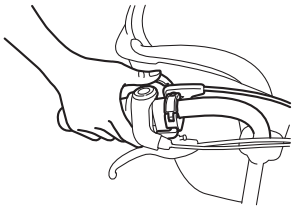
## 5. お子様をチャイルドシートから降ろすときは

安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な乗せ方、降ろし方を行わないと思わぬケガをするおそれがあります。
お子様2人を同乗させた場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】
お子様1人を降ろす場合は、下記⑤または⑥を省略してお読みください。

### ⚠ 警告

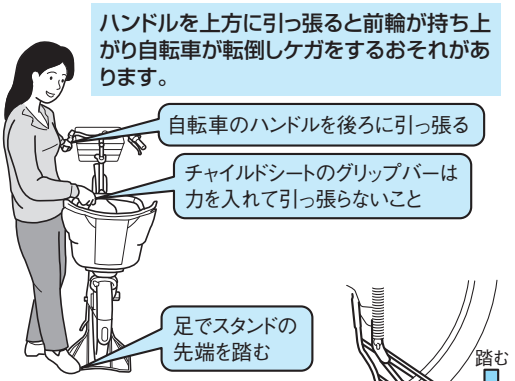
- **お子様を降ろす際は、必ず荷物を降ろす前にお子様を降ろしてください。**

**①お子様を降ろす前に、「テモトデロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ず※1※2ロック（半固定）してください。**



**②保護者が自転車から降りてください。**

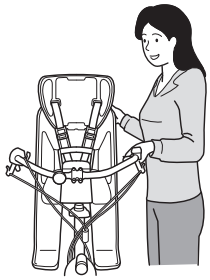
**③自転車が転倒しないように、※3安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立っていること、スタンドのロックがかかっていることを確認してください。**
**スタンドを立てる際は、チャイルドシートのグリップバーを引っ張らずに、自転車のハンドルを引っ張りながらスタンドの端を踏んで、てこの原理を利用して立ててください。**



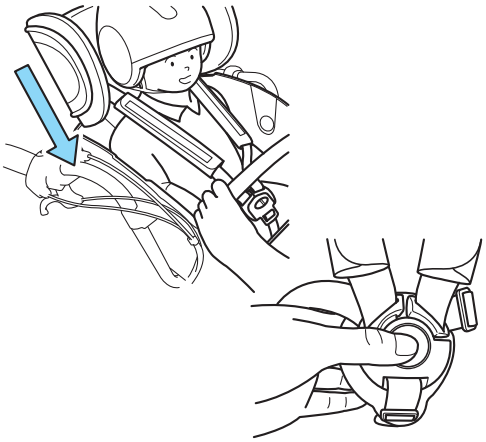

**スタンドを立てる時は、スタンドの先端を強く踏むと楽に立てることができます。**

**※4自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップバーをもって持ち上げないでください。**

**④保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。**



**⑤フロントチャイルドシートのヘッドガードを下げ、シートベルトを外して、年少のお子様から先に、しっかり抱いて降ろしてください。**



⚠ 警告

⑥次にリヤチャイルドシートのヘッドガードを下げ、シートベルトを外して、※5年長のお子様をしっかり抱いて降ろしてください。

お子様を抱いて乗せ降ろししてください。

足乗せをステップ（踏み台）として使用しないでください。

⑦お子様のヘルメットは最後に外してください。

※1　「テモトデロック」はハンドルの回転を完全に固定するものではありません。
※2　バランスを崩した際にハンドルグリップから手が離れると、とっさに指をレバーのすき間などに挟むおそれがありますので、ハンドルグリップをしっかり握ってください。
※3　傾いた場所で「テモトデロック」を解除した場合、路面の傾き等により不用意に自転車が動き転倒するおそれがあります。
※4　想定外の負荷により、フットレストやグリップバーが破損する場合があります。
※5　お子様をリヤチャイルドシートから降ろす際は、フッドガード（足のせ部）に強い力を加えないでください。

## 6. 保管のしかた

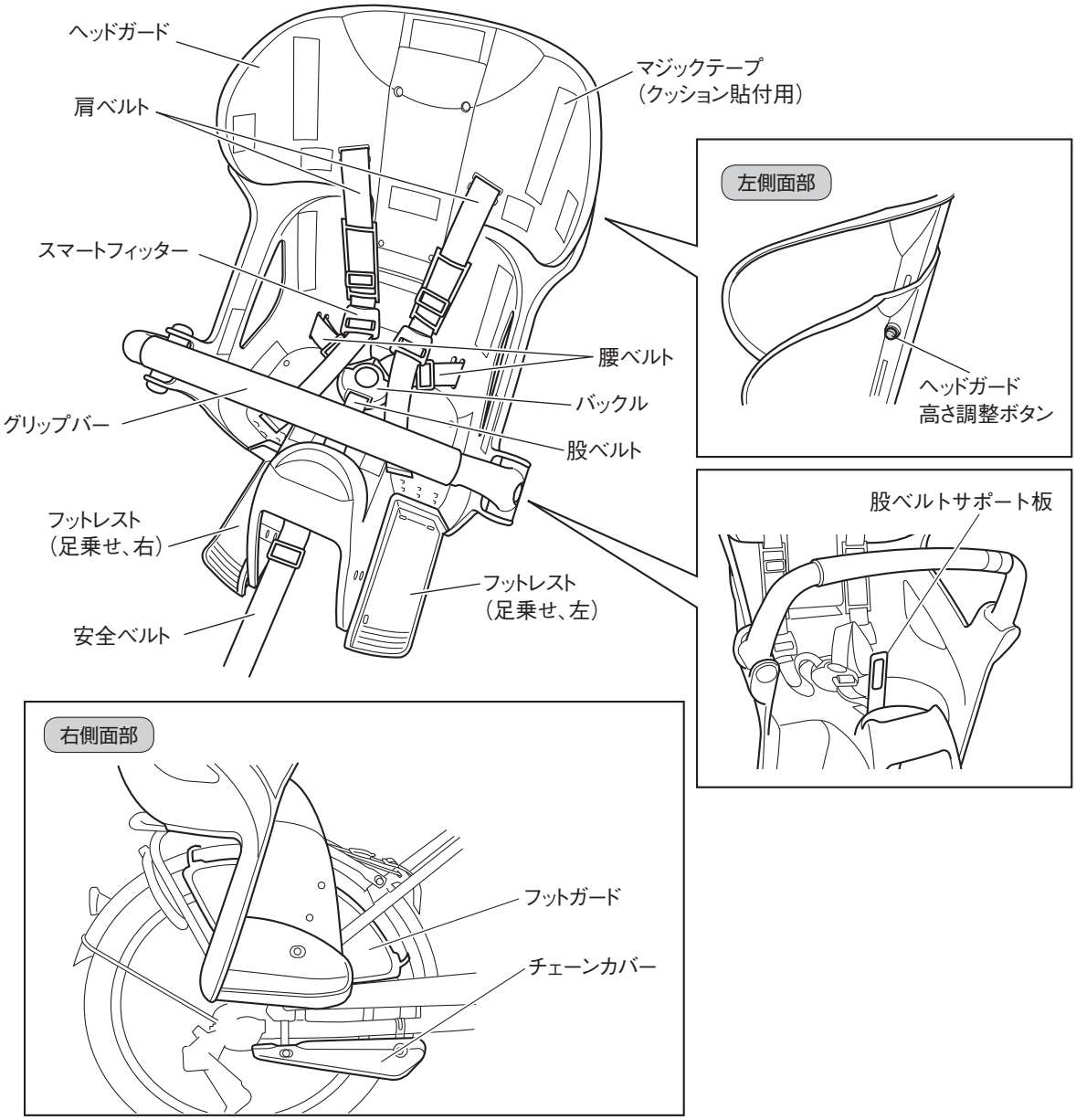
⚠ 警告

- シートベルトは消耗品です。異常がなくても2年に1度は交換してください。（有料）
  なお、シートベルトの交換につきましては、ご購入いただいた販売店へお問い合わせください。

⚠ 注意

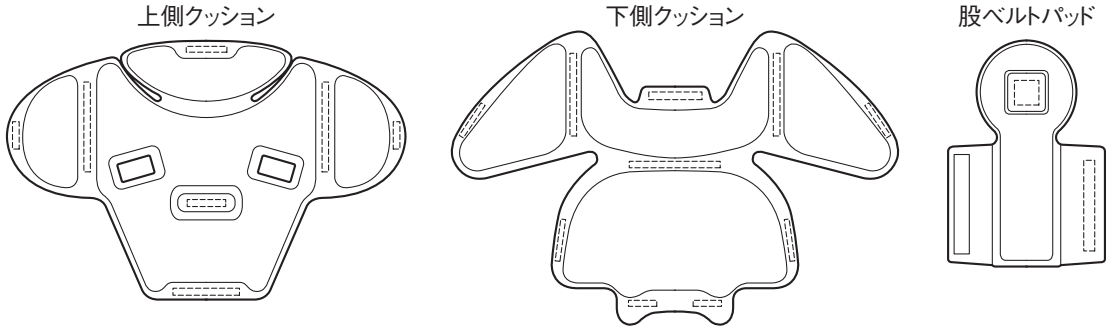
- 駐輪時等で、自転車を持ち上げる必要があるときに、フットレストやグリップバーをもって持ち上げないでください。想定外の負荷により、フットレストやグリップバーが、破損する場合があります。
- チャイルドシートは直射日光をさけて駐輪、保管し、雨ざらしにしないでください。早期劣化の原因となります。

# 各部の名称


ヘッドガード
肩ベルト
マジックテープ
（クッション貼付用）
スマートフィッター
腰ベルト
バックル
グリップバー
股ベルト
フットレスト
（足乗せ、右）
フットレスト
（足乗せ、左）
安全ベルト
左側面部
ヘッドガード
高さ調整ボタン
股ベルトサポート板
右側面部
フットガード
チェーンカバー

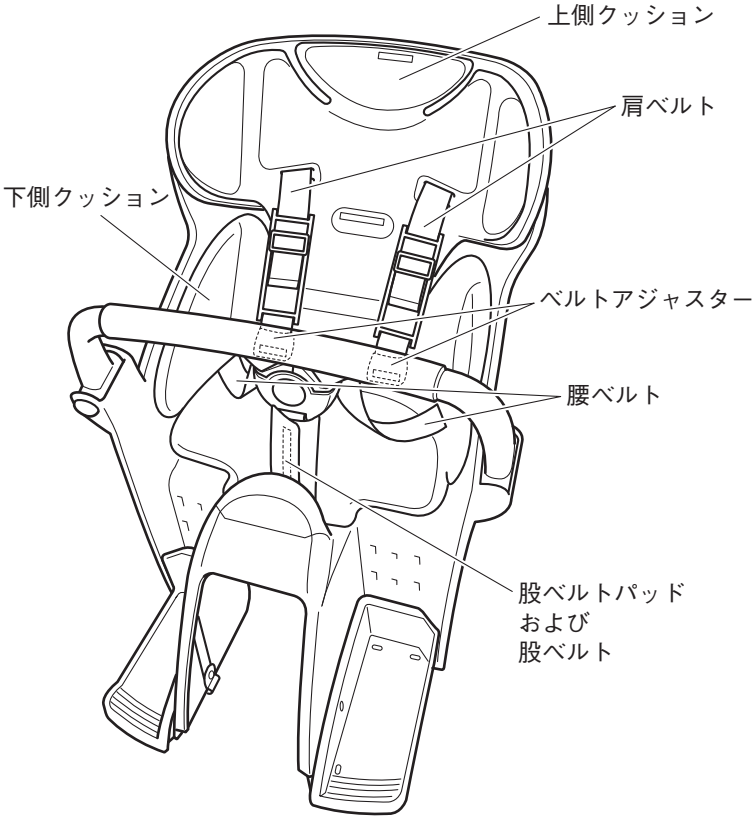
# チャイルドシートを使用する前に

チャイルドシートのクッションは別売りです。
指定のbikke用オプションパーツ「チャイルドシートクッション」をお買い求めください。



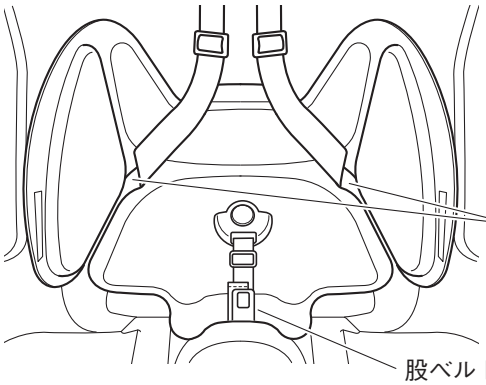

## クッションおよび股ベルトパッドの装着

図のようにクッションおよび股ベルトパッドをチャイルドシート本体のマジックテープへ貼り付けてください。



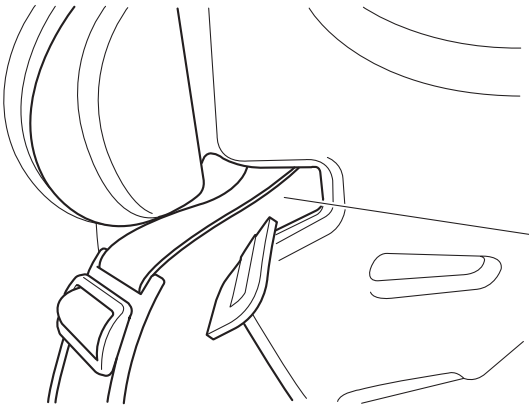
①下側クッションの取り付け

股ベルトおよび、サポート板をクッションのベルト穴に通し、腰ベルトをクッションの間から出してから、クッション裏側のマジックテープを本体のマジックテープに貼り付けます。




②上側クッションの取り付け

肩ベルトをクッションのベルト穴に通し、クッション裏側のマジックテープを本体のマジックテープに貼り付けます。




③股ベルトパッドの取り付け

股ベルトパッドをバックル本体裏のマジックテープに貼り付けてから、股ベルトに巻きつけるようにしてマジックテープで固定します。

このとき、股ベルトの長さは股ベルトパッドの長さと同じ位を目安にし、サポート板から外れないように調整してください。

# チャイルドシートの操作方法

## 1. シートベルトの調整

**⚠ 警 告**

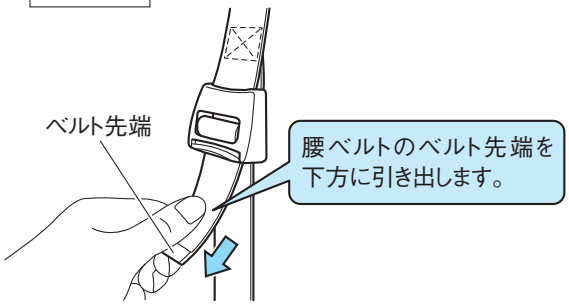
- お子様を乗せた時には、必ずシートベルトを使用してください。
- お子様の体格や服装に合わせ、シートベルトの長さを調整してください。

**⚠ 注 意**

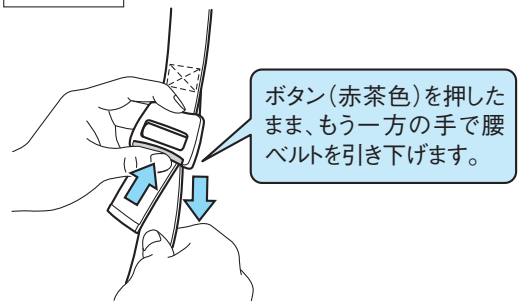
- お子様を乗せていない時でもシートベルトのバックルをはめるようにしてください。（バタツキ防止のため）

スマートフィッターを操作して、腰ベルトの長さを調整します。

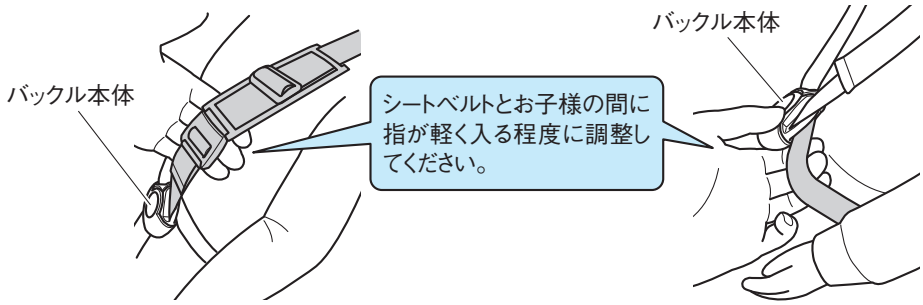
締める時




緩める時




〈シートベルト調整時のポイント〉



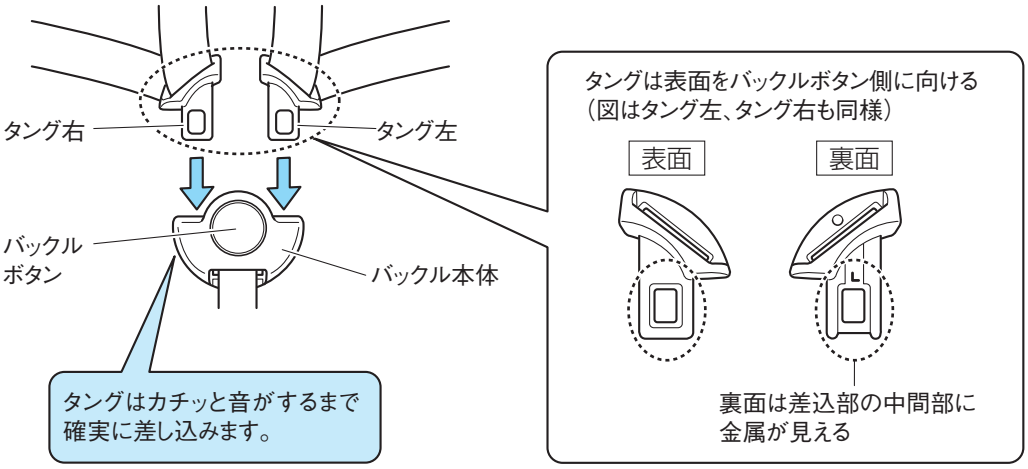

**⚠ 注 意**

- 必ず左右のシートベルトの長さが均等になるように調整してください。

## 2. バックルの固定・解除

●タングは左右別々に固定し、左右同時に解除することができます。

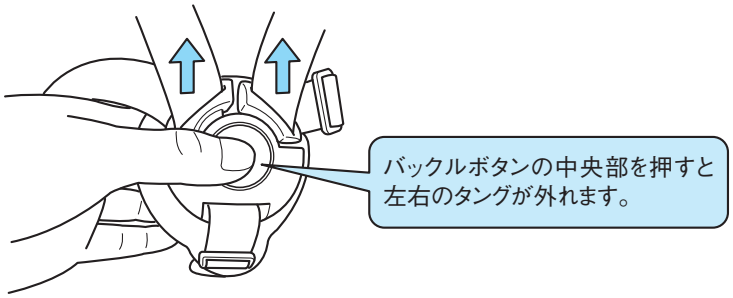
固定する時



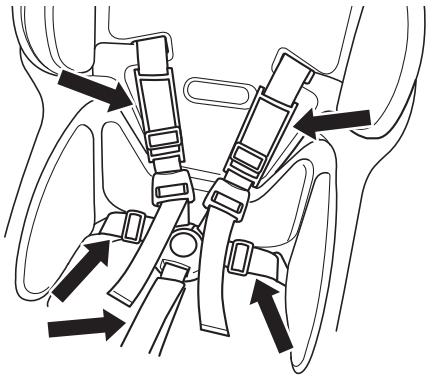

**⚠ 警告**

**●タングを差し込んだら、左右のタングを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。**

外す時




●ベルト長さ調整時及び使用時は肩、腰、股ベルトがねじれていないことを確認してください。



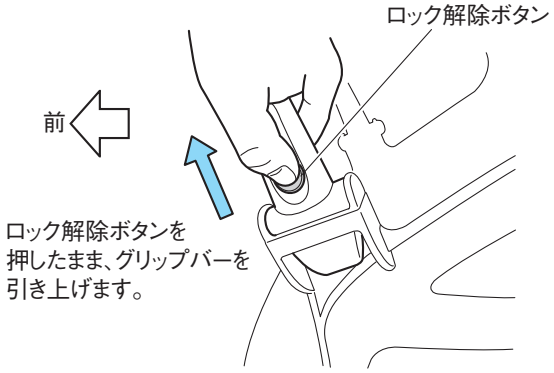
## 3. グリップバーの使い方

⚠ 注 意

- グリップバーは自転車の左側から操作してください。
- 駐輪の際は、グリップバーを開きっぱなしにせず、必ず閉じてください。
- スタンドを立てるときは、グリップバーに無理な力を加えないでください。
- グリップバーを開閉する時は、手や指を挟まないように注意してください。
- お子様がグリップバーの周囲に手を乗せていると、グリップバー開閉の操作時に手や指を挟むおそれがあります。必ず手の位置を確認してください。

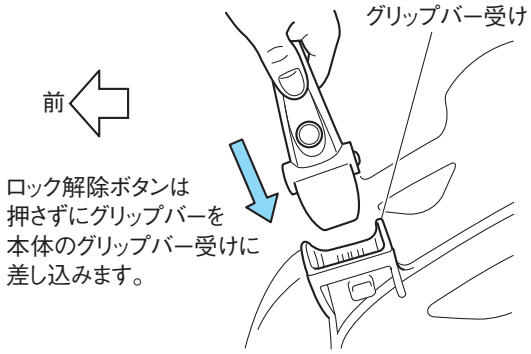
● グリップバーの開き方

グリップバー左側のロック解除ボタンを押しながら、引き上げるようにグリップバーを開いてください。



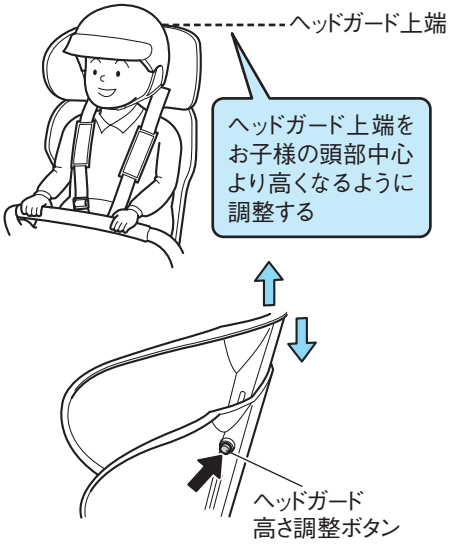

● グリップバーの閉め方

ロック解除ボタンは押さず、グリップバーをそのまま本体のグリップバー受けにしっかり差し込んでください。



## 4. ヘッドガードの使い方

●ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください。（可動範囲：約12cm）




高くする時

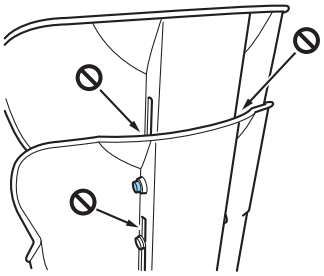
●ヘッドガード上部を持ち、そのまま引き上げます。

低くする時

●左側面にあるヘッドガード高さ調整ボタンを押しながらヘッドガードを押し下げます。

**⚠ 注 意**

**●⊘→で指した隙間に指をはさまないように注意してください。**
**●お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないように注意してください。**

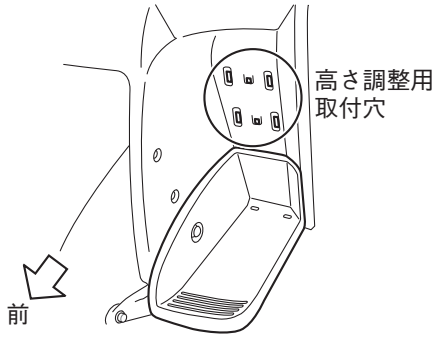


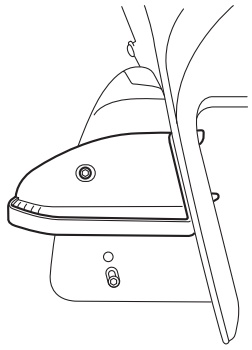
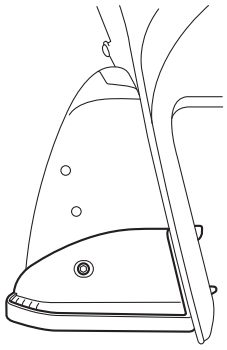
## 5. フットレスト（足のせ）の高さ変更方法

**⚠ 注 意**

**●安全にご使用いただくために、高さ変更は販売店に依頼してください。**

●お子様の体格に合わせてフットレストの高さを変更することができます。（上下3段階）




| フットレストを最上段で組み付け | フットレストを最下段で組み付け |
|---|---|
|  |  |

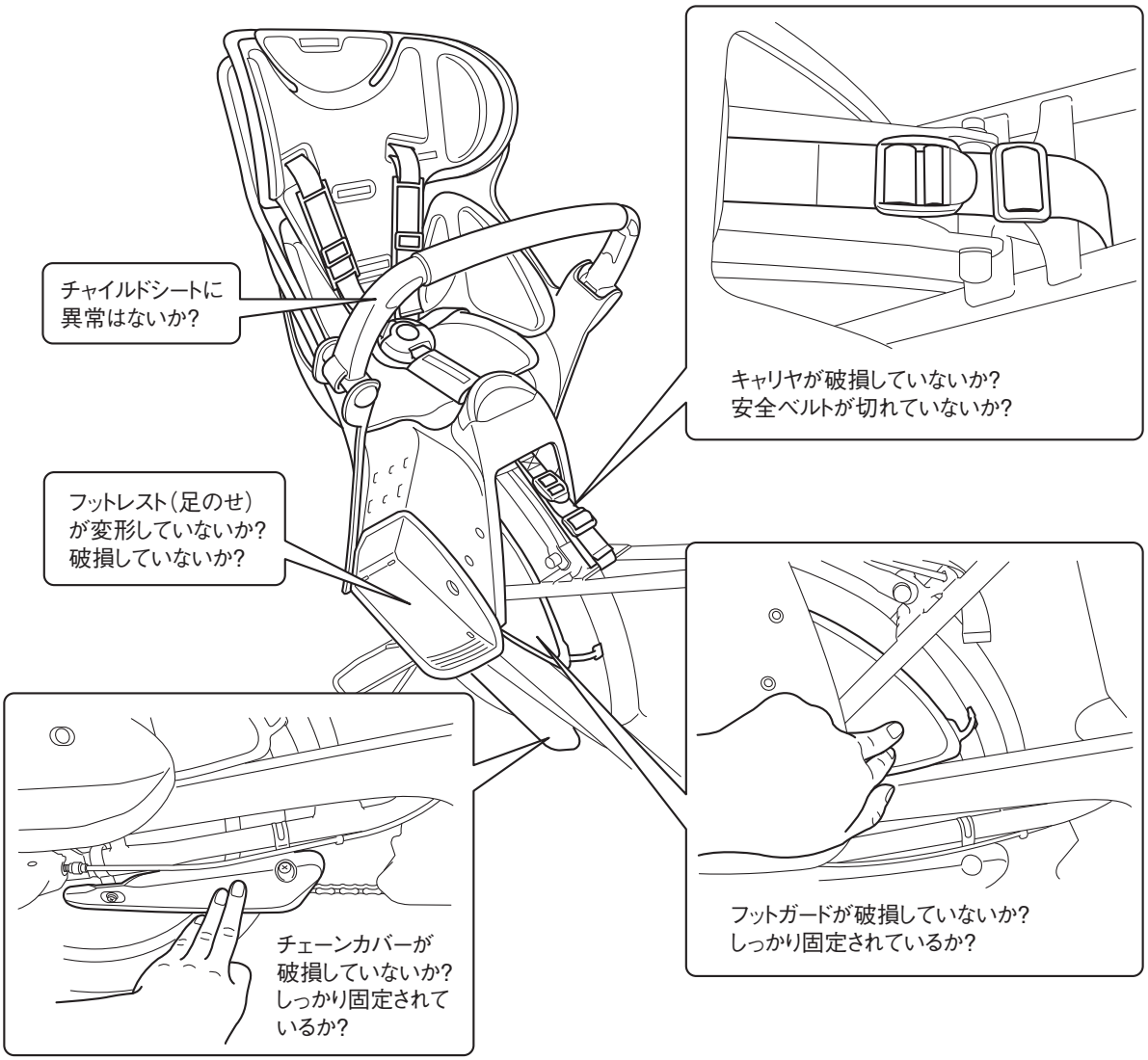
**⚠ 注 意**

**●必ず左右のフットレストが同じ高さになるように組み付けてください。**

●調整方法は組付説明書（別紙）をご確認ください。

## 6. 点検について

ご使用の前に、下記項目を点検し、異常がないことを確認してください。
少しでも異常を感じた場合は、使用を中止し販売店にご相談ください。



# 品質保証書

この製品は厳重に検査され出荷されたものです。
保証期間内にお客様の正常な使用状態（取扱説明書などに記載されている注意書きに従った使用状態）で不具合が生じた場合は、同等製品と無償交換いたします。

本保証書はお買い上げの年月日、販売店名、販売店住所、販売店電話番号を販売店が記入捺印することにより有効となります。

商品と本書及び商品名、販売名、販売日（購入日）が証明できる書類（レシート等）を合わせてお買い上げの販売店にご持参ご提示の上交換をご依頼ください。

なお本保証書は紛失されても再発行はいたしませんので大切に保管してください。

本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※次に示すものに起因する不具合は保証の対象となりません。

（1） 使用者の使用上の不注意および取扱説明書などに記載されている注意書きに従わない使用によるもの。
（2） 使用者が構造・機能を改造または変更したため生じたもの。
（3） 一般的に機能上影響の無い感覚的現象。
（4） 使用目的以外の酷使。
（5） レンタサイクルなど不特定多数で使用される場合。
（6） 地震、落雷、火災、水害、公害等人災、天災、地変によって生じたもの。
（7） 保管場所の不備、転倒や落下及び時の経過により生じた不具合及び自然退色。
（8） 製品の通常の摩擦又は疲労と認められたもの。
（9） 盗難目的による破損。
（10）本商品の故障に起因する二次的故障や損傷。

本商品の不具合に起因する付随的費用（本商品を販売店に持ち込む為に要した費用等）につきましては責任を負いかねます。

| | | |
|---|---|---|
| 商品名 | | |
| 品番 | | |
| 略号 | | |
| 保証期間 | | お買い上げ日より1年間 |
| お買い上げ日 | | 年　月　日 |
| 販売店 | 氏名<br>住所<br>電話番号 | |


ブリヂストンサイクル株式会社

〒 362-8520 埼玉県上尾市中妻 3 丁目 1 － 1
**お客様相談室**
受付時間：9:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00
（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）
フリーダイヤル：0120-72-1911
（国際電話・インターネット電話でのご利用はできません）



IA01-347
7, H